

第3学年 国語科学習指導案

令和5年4月28日(金)第5校時
3年B組 40名
指導者 高橋 舞

1 単元名 状況の中で 「挨拶—原爆の写真によせて」 石垣 りん

2 単元設定の理由

(1) 教材について

- ・「挨拶—原爆の写真によせて」は、石垣りんの口語自由詩である。詩の構造は、単純ながらも様々な表現技法が用いられている。繰り返し出てくる「顔」という言葉や具体的な数字、体言止めや倒置法など、さまざまな表現の効果を一つひとつ読み解くことができる。詩に示された表現の効果を読み解く中で、詩に込められた意味やメッセージを、実感をもって受け止めることができる。
- ・従来広島原爆投下を素材とした作品の多くは、戦争の犠牲者への哀悼や鎮魂が主題である。しかしこの作品は、過去を教訓とし、これからをどう生きるかという問題を提起している。そのため、詩に込められた作者の思いを受けとめた上で、現代を生きる自分の身の回りのことに照らし合わせて考え、自分自身の考えを深めることができる教材である。

(2) 学習者について

- ・事前に行ったアンケートによると、詩の学習を行うことが「好きだ」と答えた学習者は、55%であった。その理由としては、「読む人によってその詩から感じる感じが違い色々な意見に触れることができるから」「なぜその言葉を使ったのかを考えるのが好きだから」「言葉から詩の内容を深めることができるから」などが挙げられた。一方で、「好きではない」と答えた生徒の理由としては、「少ない言葉から筆者の思いを読み取ることが難しい」「比喩表現などが多く使われており、読み取りにくいから」「端的に筆者の思いを書いていないことが多く、感情を読み取ることが難しいから」などがあげられた。このことから、散文に対する苦手意識を持っている学習者も半数近くおり、その理由としては言葉の短さや表現技法を用いていることで、作者の思いを読み取ることが難しいと感じている学習者が多いことが分かる。
- ・2年次では、「見えないだけ」(牟礼慶子)、「月夜の浜辺」(中原中也)の2つの詩について学習を行った。その中では、表現技法の確認や詩のイメージについて、また詩を通して作者の伝えたい思いを言葉一つひとつに注目して考える活動を行った。これまでの学習を通して「詩」に抵抗感を感じている学習者も多く、作者の思いを読み取ることが苦戦している姿も見られた。今回の学習では、これまでに行ってきた「詩の中から作者の思いを読み取る」という学習に加え、読み取った内容を、自分たちの身の回りのことに照らし合わせて考えさせていきたい。

(3) 指導について

- ・詩の中に書かれている表現技法や表現の効果の一つひとつを読み取ることで作者からのメッセージを主体的に捉えることができるように促す。なぜこの語が選択されているのかなど、詩に使われていることは一つひとつに注目されることでその意図や必然性を読み取らせたい。
- ・単元のゴールとして「石垣りんさんの思いをのせて、平和の尊さを伝えるためのポスターを作ろう」を設定した。キャッチコピーや韻文と写真や絵を組み合わせたカレンダーやポスターは、生徒も日常的に見ているものと思われる。それらを想起させながら、本単元で学習した詩に合うように3枚の写真から1枚選び、なぜその写真と組み合わせたのかという理由を考える。現代社会の状況と重ね合わせながら、各自が受け取ったメッセージを見る人に最も効果的に伝えるためにはどうしたらいいのか、自分で考えを述べるができる。また、他の写真を選んだ人の考えを聞くことで、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにさせる。

4 単元の目標

〈知識及び技能〉 【(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項のイ】

- ・詩の内容を理解したり表現したりするために必要な語句の意味を知り、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。

〈思考力, 判断力, 表現力等〉

【C 読むこと(1)ウ】

- ・作者のメッセージを読み取るために、詩の構成や表現の仕方について、注意して読み解くことができる。

【C 読むこと(1)エ】

- ・詩を読んで自分自身の考えを広げたり深めたりして、人間・社会などについて自分の意見を持つことができる。

〈学びに向かう力, 人間性等〉

- ・詩の構成や表現技法にこめられた作者のメッセージを読み取り、他者と交流する中で、自分の考えを伝え合おうとする。
- ・詩に合った写真を選び、その理由を考えることで、現代社会の状況と重ね合わせ自分の考えを深め、広げることができる。

5 評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、語彙を豊にしている。	①詩の構成や表現技法、表現の仕方について理解し、作者のメッセージを読み取ろうとしている。 ②詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間社会などについて、自分の意見を持つようとしている。	①詩の構成や表現技法を理解した上で作者が詩に込めたメッセージを他者に伝えようとしている。 ②詩に合った写真を選び、ポスターを作成することで、作者から受け取ったメッセージを自分と重ね合わせ自分の言葉で表現し、相手に自分の考えを伝えている。 ③作成したポスターを用いて、班で交流し感想を伝え合おうとしている。

6 指導と評価の単元計画

時	主な学習活動・ねらい	指導上の留意点【問いの工夫】	評価規準			・評価規準・[評価方法]
			ア知識	イ思考表	ウ態	
単元のゴール:「石垣りんさんの思いを写真にのせて、平和の尊さを伝えるためのポスターを作ろう」(言語活動)						
1	・「挨拶—原爆の写真によせて」を読み、必要な語句の意味を調べ、作者がどのような意図で使っているのか、また表現技法があることで、どのような効果が生まれるのかを考えることができるようにする。	・石垣りんさんがこの詩を作った理由を理解させる。 ・単元のゴールを設定し、次回以降の見通しを持たせる。(文章や写真や絵を合わせたポスターなどの例を出す。) ・表現技法や語句の意味を調べ、詩の内容を理解させ、表現の効果について考えさせる。	①			【ア知識・技能】① ・詩で使われている語句の意味や表現技法について理解し、その効果について考えることができる。また、次回以降の見通しを持つことができる。[ワークシート]
2	・前時を振り返りながら、詩で表現されている言葉一つひとつに注目し、作者がこの詩に込めたメッセージを読み取る。	・作者がこの詩の中でもっとも伝えたい部分を抜き出させる。 ・作者が詩に込めたメッセージを読み取らせ、他者と交流させることで、考えを深めさせる。	①	①		【イ思考・判断・表現】① ・一つひとつのことに注目する中で、作者が詩に込めたメッセージを理解し、自分の言葉で書くことができる。[行動観察・ワークシート] 【ウ主体的に学習に取り組む態度】① ・自分が読み取ったことを他者と交流することによって考えを深めることができる。[行動観察・ワークシート]
3 (本時)	・作者が詩にこめたメッセージを表現している最もふさわしい写真を選び、その理由を考える。 ・他者と理由を交流することで、より自分の考えた理由を強固なものとする。	・3枚の写真から作者が詩に込めたメッセージに一番ふさわしいものを選び、その理由を考えさせる。 ・他者と意見交流させることで、自分の考えを再構築させる。	②	②		【イ思考・判断・表現】② ・作者の詩に込められたメッセージに一番ふさわしいと思う写真を選び、その理由を述べるができる。[ワークシート] 【ウ主体的に学習に取り組む態度】② ・自分が考えた理由を他者と交流することで、自分の考えを付け加えることができる。[ワークシート]

4	・前時を振り返りながら、作者の詩に込めた思いにふさわしいポスターを作成する。 ・班で交流し、感想を伝え合う。	・これまでの授業を振り返りながら、ポスターを完成させる。ポスターを作った遺文の考えを班で交流させ、自分の考えを広げさせる。			③	【主体的に学習に取り組む態度】③ ・詩に込めた作者の思いを表現したポスターを完成させることができている。 [ポスターの作品] ・ポスターを用いて班で交流する中で、他者の意見を聞き、自分の考えを広げることができている。[ワークシート]
---	---	---	--	--	---	---

●学習状況を見取り、学習者の成長を認め励ますとともに必要に応じて指導、支援を行う「学習改善につなげる評価」

○観点別学習状況の評価や評定に用いる「記録に残す評価」

【努力を要する状況(C)に対する手立て】

- ・3枚の写真は授業者が提示することで、的をしばり自分の考えを述べやすくする。
- ・表現技法など既習事項を復習することで、詩の内容を理解しやすくする。
- ・グループ活動を多く取り入れることで、他者の意見を自分の考えと合わせて再構築させることができ深い理解につながる。
- ・ポスターという身近なものを取り入れることにより、より自分自身と重ね合わせやすくなり、考えを述べやすくする。

6 本時の指導

(1) 本時の位置づけ (3 / 4)

(2) 題材名 「挨拶—原爆の写真によせて」 石垣 りん

(3) 本時のねらい

作者が詩に込めたメッセージを読み取り、見る人に最も効果的に作者のメッセージを伝えるために3枚の写真の中から1枚選びその写真を選んだ理由を考えることを通して、現代社会の状況と重ね合わせながら自分の考えを述べるができる。

本時における「問い」を生み出す工夫(国語科)

- ・3枚の写真から1枚選びその理由を考えることで筆者のメッセージと現代社会の状況を重ね合わせる。
- ・なぜその写真を選んだのかを他者と共有することで、自身の考えを再構築する。

(4) 展開

時間	学習活動	学習内容及び指導上の留意点	評価
7	1、前時の振り返りとめあての確認をする。	○前時までの活動の振り返りを行い、本時のめあてを提示し、意識づけを行う。	
	めあて: 作者のメッセージを最も効果的に伝えるために1枚写真を選び、その写真を選んだ理由を考えよう。		
10	2、作者のメッセージを効果的に伝えるために3枚の写真の中から1枚選びその理由を考える。	○【めあて】から自分の[問い]を考え、CBに書く。 ○3枚の写真から自分が作者のメッセージを一番伝えられると思うものを選ぶ。 ○写真のどの部分から作者のメッセージを効果的に伝えられると考えたのか、写真を分析し自分の考えをまとめる。(「写真のどのようなどころからそう思ったのか」「その写真を選ぶことで見る人にどのようなメッセージが伝わるか」など) (C層の学習者への手立て) ・机間指導を行いながら、写真のどの部分に注目すればいいかを考えるように促す。	・3枚の写真からなぜその写真を選んだのか写真を分析し自分の言葉で考えを書いている。[ワークシート]
10	3、同じ写真を選んだ人同士で集まり自分がその写真を選んだ理由を伝え合う。《班活動》	○班を作り、同じ写真を選んだ人同士で理由を伝え合う。(「自分が写真を選んだ時に大切にした視点」などを伝える) ○お互いの意見交流の中で、他者の意見を参考にしながら自分の考えをよりよくするために話し合いを行う。	・自分の意見を再構築するために他者と交流して意見交流をすることができている。[行動観察]

5	4. 班活動で他者から得た意見を踏まえて、自分の考えを再構築する。	○他者から伝えられた意見をもとに、自分の考えに参考のできるものがあればそれを引用するなどし、「なぜ自分がその写真を選んだのか」の考えを再構築する。	・他者の意見を踏まえて自分の意見を再構築することができている。 [行動観察・ワークシート]
10	5. なぜその写真を選んだのかを発表させる。《全体交流》	○それぞれがどのような理由で、その写真を選んだのかを全体交流の中で確認する。	
8	6. 振り返りを書く。	○「作者のメッセージを効果的に伝えるために、写真を選ぶときに大切にしている視点は何か」を考えて書く。	・1 時間の授業を振り返り、他の写真を選んだ人の意見も踏まえて振り返りを書くことができている。[ワークシート]
<p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者が伝えたいメッセージを踏まえて、詩を詳しく分析すること。 ・写真を見てすぐに詩の内容が伝わることも大切だが、ポスターを見る人が詩の内容や写真を詳しく見ることが本当のメッセージが伝わるものを選ぶこと。 ・詩に用いられている表現や写真の情報を関連付けること。 			
		○自分が授業の最初に書いた[問い]の答えも CB に記入する。	